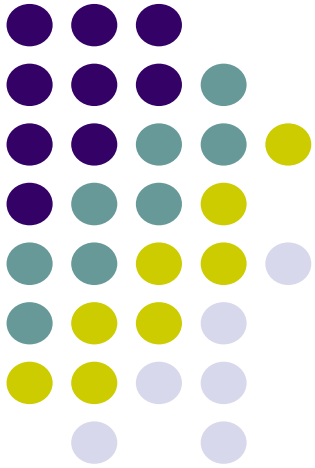
決　算　説　明　資　料

（2013年3月期決算）



2013年5月9日

東証2部・大証2部

オーナンバ株式会社

目次

1. 決算の概要（BS、PL、C/F）
2. セグメント別業績
3. 2013年3月期のトピックス
4. 2014年3月期の経営戦略
5. 2014年3月期の業績予想

１．決算の概要

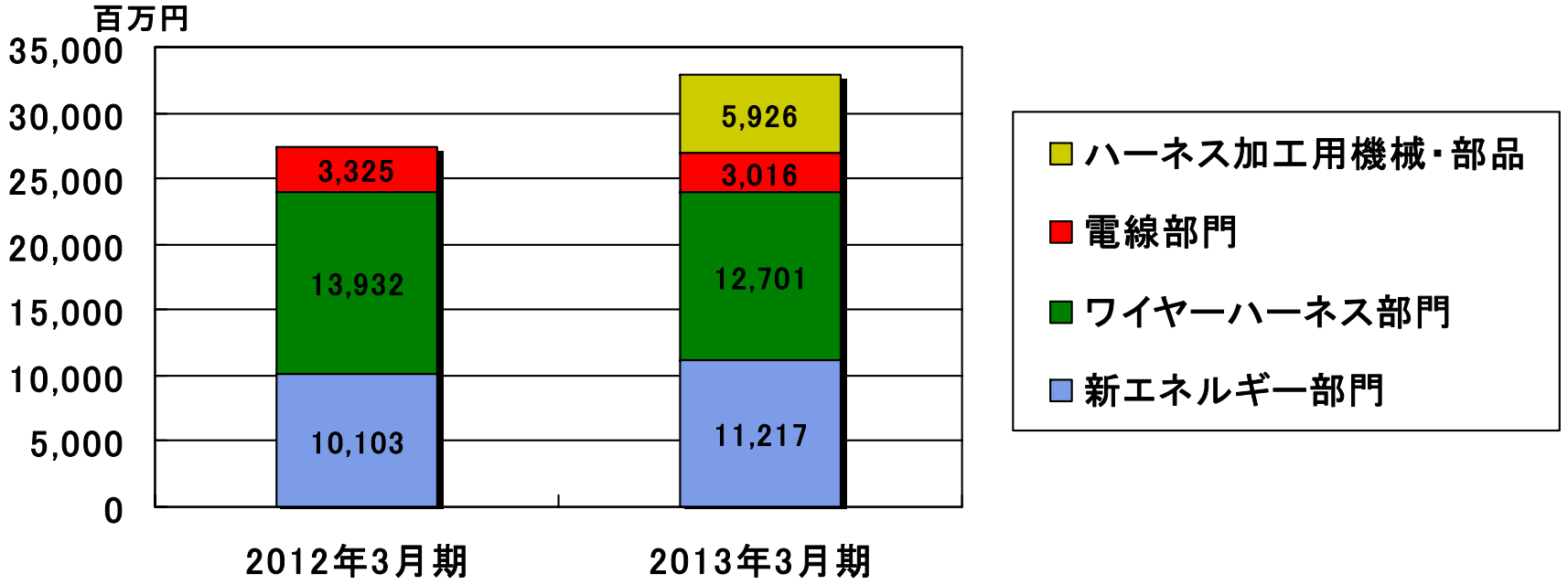
－ＰＬ－　　『増収、営業増益も最終損益は赤字となる』

（単位：百万円）

科目	2012年3月期		2013年3月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	27,361	100.0%	32,860	100.0%	5,498	20.1%
売上原価	22,136	80.9%	26,732	81.4%	4,596	20.8%
販売費・一般管理費	4,517	16.5%	5,362	16.3%	844	18.7%
営業利益	707	2.6%	764	2.3%	56	8.0%
営業外収支	81	0.3%	△125	△0.4%	△206	―
経常利益	788	2.9%	639	1.9%	△149	△19.0%
特別損益	△73	△0.3%	△364	△1.1%	△290	―
当期純利益	277	1.0%	△90	△0.3%	△368	―

・売上高：ユニオンマシナリのグループ加入により増加した。製品別内訳は次頁。
・販売費・一般管理費：ユニオンマシナリのグループ加入により増加した。
・営業外収支：デリバティブ解約損１６４百万円が発生。
・特別損益：関係会社清算損３４６百万円が発生。（前期は投資有価証券評価損８１百万円）

【部門別売上高】



・新エネルギー部門：太陽光発電配線ユニット・ケーブル、ＰＶＵ－Ｆｉｎｄｅｒの売上が増加。
・ワイヤーハーネス部門：主に薄型テレビ用ハーネスの売上が減少。新たに建機用ハーネスが加わる。
・電線部門：国内の設備投資の停滞により売上が減少。
・ハーネス加工用機械・部品はユニオンマシナリ社のワイヤーハーネスを除く製品群の呼称

【主要製品別売上高】

（単位：百万円）

	2012年3月期	2013年3月期	増減
太陽光発電配線ユニット・ケーブル	9,957	10,825	868
薄型テレビ用ハーネス	2,999	1,238	△1,761
白物家電用ハーネス	1,358	1,356	△2
事務機器用ハーネス	1,511	1,564	53
自動車部品用ハーネス	906	951	45
アミューズメント用ハーネス	462	583	121
工作機械用ハーネス	479	374	△105

・太陽光発電配線ユニット・ケーブルは、欧米の販売は減少するも日本国内販売が増加した。
・薄型テレビ用ハーネスは、日系メーカーの自社生産縮小の影響で減少した。
・アミューズメント用ハーネスは、ゲーム機用の販売が増加した。

【設備投資の状況】

（単位：百万円）

	2012年3月期	2013年3月期	増減
有形固定資産取得額	919	637	△282
減価償却費	593	610	17

主な投資内容

ユニオンマシナリ（本社）	７１百万円	⇒	成型金型・治具
インターコネクトテクノロジー	６０百万円	⇒	電線製造設備
ベトナムオーナンバ	５４百万円	⇒	太陽光発電配線ユニット製造設備

【人員増減】

	2012年3月末 (A)	2012年9月末	2013年3月末 (B)	増減(B-A)
従業員	4,048人	4,638人	4,441人	393人
臨時従業員	247人	288人	316人	69人
合計	4,295人	4,924人	4,757人	462人

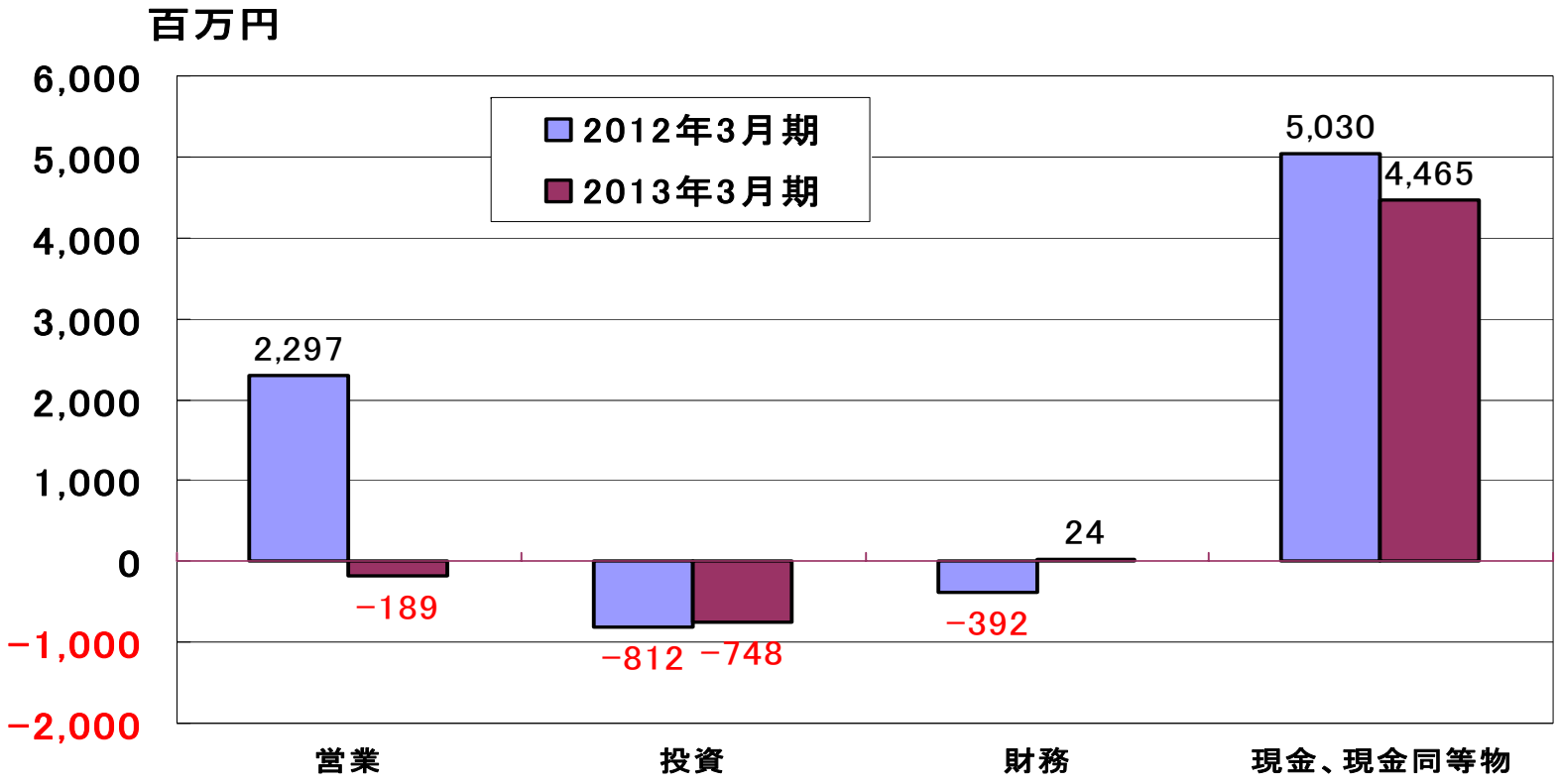
－ＢＳ－　『ユニオンマシナリの加入により資産・負債とも増加』

（単位：百万円）

科　目	2012年3月末		2013年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	17,138	76.2%	21,545	71.1%
（現金及び預金）	5,250	23.3%	4,685	15.5%
（売掛債権）	7,082	31.5%	10,558	35.0%
（棚卸資産）	4,229	18.8%	5,616	18.6%
固定資産	5,362	23.8%	8,746	28.9%
（有形固定資産）	3,479	15.5%	5,683	18.8%
資産合計	22,500	100.0%	30,291	100.0%
流動負債	8,471	37.6%	12,552	41.6%
（買掛債務）	4,413	19.6%	6,516	21.6%
（短期借入金）	2,605	11.6%	4,507	14.9%
固定負債	2,697	12.0%	5,705	18.8%
（長期借入金）	2,172	9.7%	4,727	15.7%
負債合計	11,169	49.6%	18,257	60.3%
純資産計	11,331	50.4%	12,033	39.7%
負債・純資産合計	22,500	100.0%	30,291	100.0%

・ユニオンマシナリのグループ加入により、売掛債権、棚卸資産、固定資産が増加。
・同様の理由により、負債も買掛債務、短・長期借入金が増加。
・純資産は利益剰余金は減少するも為替換算調整勘定の影響で増加。

-C/F-　【キャッシュフローの状況】

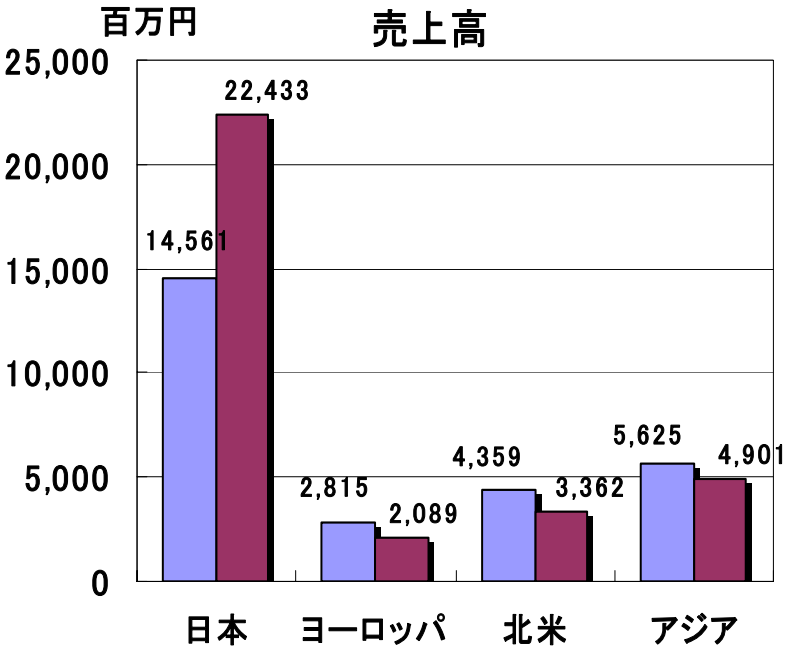


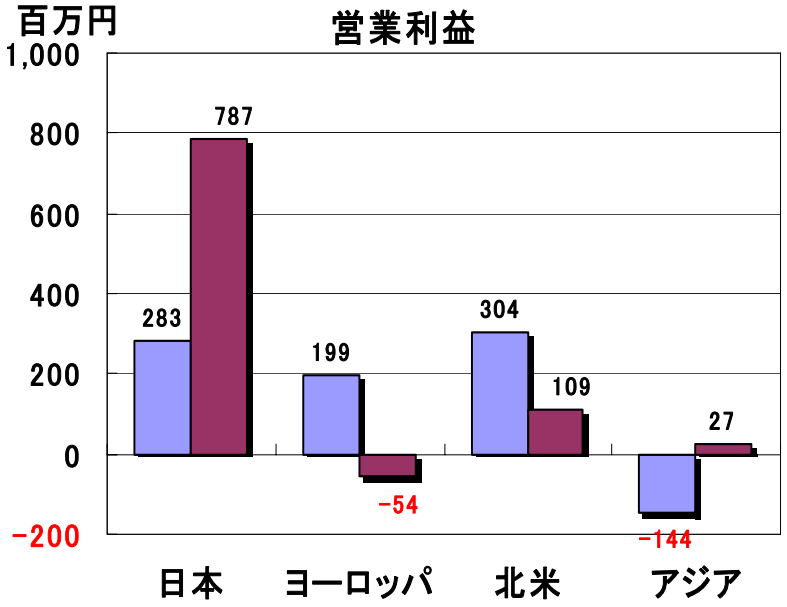
営業C/Fは受注の増加に伴う運転資金の増加でキャッシュアウト。投資C/Fは固定資産の取得によりキャッシュアウト。財務C/Fは借入が返済より多くキャッシュインとなる。

２．セグメント別業績

【セグメント別売上高・営業利益】

ヨーロッパと北米の売上高・営業利益が前年度に比べ減少した（ヨーロッパは営業損失）。日本は回復。





□2012年3月期　■2013年3月期

３．２０１３年３月期のトピックス

① 新エネルギー関連製品の開発・上市

PVU－Finderや接続箱など新エネルギー関連の新規事業に対応した製品を開発し上市した。

② 中国国内販売の強化

上海に販売会社を設立し、在来子会社2社の販売部門を統合した。販売体制の強化を図り、中国市場での受注増を図る。

③ 東南アジア子会社の再編

薄型テレビ用ハーネスの需要減少に対応するため、シンガポールとオーナンバ・タイの子会社を清算し、カンボジア子会社の増産を行った。ユニオン・タイ子会社の増強及び工場移転に着手した。

④材料の現地調達の推進

ベトナム子会社において太陽光発電配線ユニットに使用する材料の現地調達を進め、原価の低減を図った。

４．２０１４年３月期の経営戦略

① 新エネルギー市場向け生産販売体制の強化

日本及びベトナム子会社の生産能力の増強

② 新製品開発の促進

自動車、ロボット、環境、医療分野の製品開発の促進

③ 競争力強化ための事業構造改革

・欧米子会社の生産販売体制の見直しと増強

・円安、賃金上昇等の環境変化に対応した中国・東南アジア子会社の生産体制の見直し

④ コストダウンの徹底

生産性の向上及び滞留品・輸送費の削減

５．２０１４年３月期の業績予想

今期の業績予想は、旺盛な国内の新エネルギー関連製品需要への対応と白物家電・産業機械用ワイヤーハーネスの拡販を織り込んで策定した。

（単位：百万円）

	2013年3月期	2014年3月期	増減
売上高	32,860	34,500	1，640
営業利益	764	950	186
経常利益	639	750	111
当期純利益	△90	400	490

【部門別売上高】

	2013年3月期	2014年3月期	増減
新エネルギー部門	11,217	12,300	1,083
ワイヤーハーネス部門	12,701	13,100	399
電線部門	3,016	3,300	284
ハーネス加工用機械・部品	5,926	5,800	△126

本資料の将来予想に関する記述は、経済情勢や社会情勢の変化により、実際の業績と異なる場合があることをご承知おき下さい。